

(別紙4(2))

事業所名: グループホームみどり

目標達成計画

作成日: 令和3年 3月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念沿ったケアを心掛けているが、更なる意識付けとして、理念をもとに、年間の個人目標や、ユニット毎の目標を掲げ、目標達成状況や振り返りを行う必要がある。	各個人の目標、ユニット毎の年間目標を立て、実践に取り組む。	新年度より、各個人の目標、ユニット毎の年間目標を立て、実践に取り組み、半年の振り返り等を行い、達成状況を踏まえ次年度への目標設定に繋げていく。	12ヶ月
2	6	定期的な勉強会を開催しているが、さらに身体拘束についての知識や意識を深める必要がある。マニュアルを再度検討し、作成後、掲示して、全職員が取り組む。	全職員が、再度、身体拘束の基本についての理解、周知徹底を図る。	身体拘束禁止の具体的な行為(11項目)や、スリーロック等の内容を踏まえたマニュアルを作成し、フロアに掲示して、意識しながら取り組んでいく。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。